

<英文法超基礎⑧> Lv.★★★★☆☆ 仮定法③

① as if [though] を使った表現

- He talks as if [though] he knew everything.
「彼はまるで何でも知っているかのように話す」

(1.): 2.

- He looks as if [though] he had seen a ghost.
「彼はまるで幽霊を見たかのような顔つきをしている」

(3.): 4.

- The boy looks as if he is going to cry. 「少年は泣き出しそうな様子である」
→ 事実と異なることについての例えではなく、**実際の様子について推測する場合**には as if の後には **直説法** を使う!
※ as if to V で 「5. 」という用法もある。

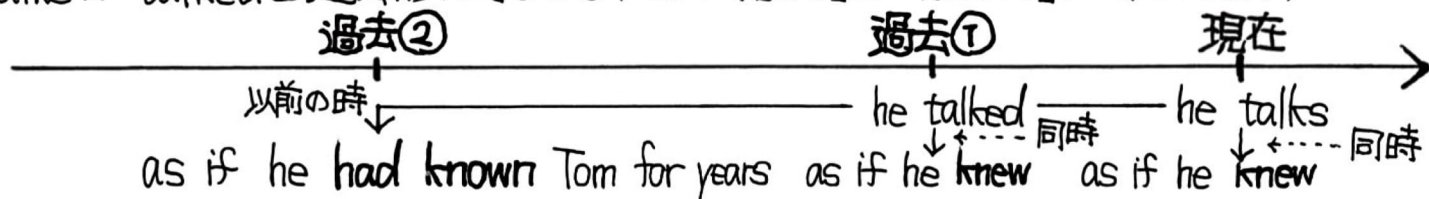
② as if の時制について

- ① He talks as if he knew everything. ← 仮定法過去
- ② He talks as if he had known Tom for years. ← 仮定法過去完了
「彼はトムを何年も知っていたかのように話す」

① He talks (直説法の節) と as if he knew ~ (仮定法の節) のできごとが (6.) に起きているなら、as if の節の V は 仮定法過去 となる!

② as if の節のできごとが、直説法の節のできごと (7.) に起きているのなら、as if の節の V は 仮定法過去完了 となる!

talks が talked と過去形になっても同じ! (「話す」が「話した」になるだけ!)



- ③ He talks as if he were a teacher. ④ He talks as if he is a teacher.
→ ③は **were** という (8.) が使われているので、「彼は先生ではない」が「先生みたいに話す」というニュアンスで、④は **is** を用いた **直説法** の文なので、「彼が先生の可能性もある」というニュアンス!

③「～がなければ」系の表現

①(9.) : 「10.

→ 現在の事実と異なることを仮定する! (仮定法過去)

(例) If it were not for his help, our plan wouldn't be going well.
「もし彼の手助けがなければ、私たちの計画はうまくいかないだろう」

②(11.) : 「12.

→ 過去の事実と異なることを仮定する! (仮定法過去完了)

(例) If it had not been for the rain, we could have had a good time.
「もし雨が降らなかつたら、楽しい時を過ごせたのに」

☆ ①も②も (13.), (14.)に言い換えられる!

① Without his help, our plan wouldn't be going well.

② But for the rain, we could have had a good time.

④ その他の仮定法の表現

①(15.) : 「16.

May I smoke here? — I would rather you didn't.
「タバコを吸ってもいいですか」 「できれば吸わないでほしいのですが」

※ ② would rather S' + (17.) : 「18.

I'd rather you hadn't told her the truth.
「あなたが彼女に本当のことを言わなければよかったのと思う」

②(19.) : 「20. (21.) : 「22.」 ← 助動詞の過去形もくる!

If only you had helped her! 「あなたが彼女を助けてさえいたらなあ」

③(23.) : 「24.

It is high time you took a bath.
「お風呂に入るのにちょうどいい時間だ」

It is about time I was leaving. 「そろそろ出発してもいい頃だ」
→ 本来なら「出発しつつある時間」なのに、
→ 「そろそろ失礼いたします」
出発していない、ことを表す。